



LEICA S-SYSTEM

LEICA **S-SYSTEM**

最高峰のカメラシステム



機動性、速写性、コンパクトさを兼ね備えたミドルフォーマットカメラのライカSは、圧倒的な高画質を実現し、新たな基準を打ち立てるだけでなく、最高峰のカメラとしての地位を確立しています。

Sシステムでは、あらゆる用途に対応する、定評あるライカクオリティのレンズ（その多くはセントラルシャッターを選択可能）や、革新的な「ライカ プロフォーマット」を採用した撮像素子など、システムを構成する要素のひとつひとつから、他の追随を許さぬ品質の高さがうかがえます。また、プロフェッショナルによる撮影を念頭に考案した直感的な操作性のコンセプトや、長年の使用にも耐えうる高い信頼性の設計や構造も、確かな品質の証拠です。

Sシステムのカメラの特長は、優れた操作性、速写性、堅牢性です。つまり、日々の撮影にふさわしいメリットを備えた理想的なカメラなのです。これらのメリットは、フォトジャーナリズム発展の礎となった「ウル・ライカ」をオスカー・バルナックが開発した100年以上前から、ライカのカメラに共通して受け継がれてきたものです。ライカはこれまでのカメラづくりにおいて企業哲学を徹底して貫いてきました。その中で、卓越した製造技術と先見性を備えたチャレンジ精神により、革新を幾度となく生み出してきました。それらの革新が、写真の世界の常識を覆し、新たな地平を切り拓いてきたのです。Sシステムも、その伝統を継承するカメラシステムです。ぜひ、最寄りのライカストアまたはSシステム認定特約店でご体験ください。



LEICA S-SYSTEM	02
LEICA S	14
LEICA S-E	22
LEICA S-SYSTEM WORKFLOW	27
LEICA S-LENSES	30
LEICA S-SYSTEM ACCESSORIES	46
LEICA S-SYSTEM SERVICE PACKAGES	50
LEICA S-SYSTEM TECHNICAL DATA	52

LEICA **S-SYSTEM**

革新的なフォーマット



30 x 45_{mm}

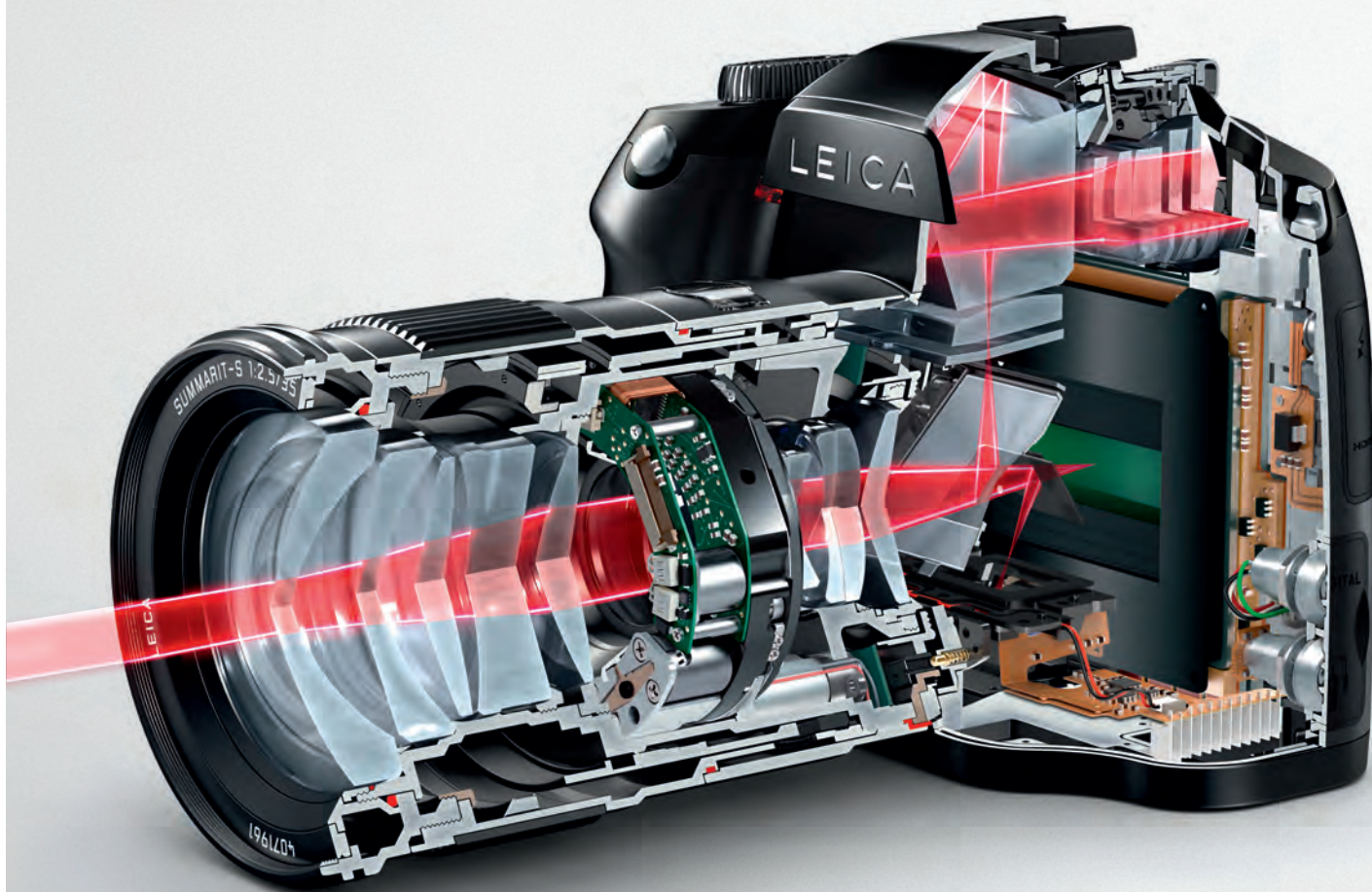
ライカ プロフォーマット

高性能なデジタル撮影専用のカメラの開発に挑むにあたり、ライカは当時存在していたあらゆるフォーマット（撮像素子のサイズ）の長所と短所を比較検討しました。その結果たどり着いたのが、35mmカメラの撮像素子よりも1.5倍以上大きい、30×45mmという独自のフォーマットでした。「ライカ プロフォーマット」と名付けられたこのフォーマットは、それまでの既存のフォーマットでは対応できなかった問題も解決することが可能になっています。また、優れた描写力とクリエイティブな表現力もバランスよく両立できるようになっています。「ライカ プロフォーマット」では、35mmカメラを大きく上回る美しい描写と、被写界深度をきわめて浅くした表現を実現できるように、十分なサイズを確保しています。その一方で、描写力と表現力を高い次元で同時に達成するカメラシステムとしてなるべくコンパクトになるように、サイズをできるだけ小さく抑えています。さらに「ライカ プロフォーマット」なら、被写界深度を深くする場合に、一般的なミドルフォーマットのカメラほど絞り込む必要はありません。すなわち、ピントの合う範囲を広くしたいときでも、レンズの性能を余すところなく引き出しつつ、定常光だけで撮影できるのです。

実用面で理想のバランスを実現している「ライカ プロフォーマット」は、従来のミドルフォーマットをはるかに超える汎用性で、幅広い用途やシーンに対応します。

LEICA **S-SYSTEM**

すべては光学系にあり



MORE THAN 100 YEARS OF EXPERTISE

ライカSレンズ

どんなカメラシステムでも、その性能の良し悪しを大きく左右するのがレンズです。Sシステムのレンズはすべて、最高の描写力を発揮するように製造されています。肌の階調をはじめとする色の再現性とコントラストに優れ、シャープな解像感と美しいボケ味を実現するSレンズなら、絞り値や撮影距離にかかわらず、常に優れた描写が可能です。100年以上にわたって培ってきたノウハウをベースに、最高品質の素材を選び、最先端の製法を用いてつくり上げていることにより、これほどまでに卓越した描写性能を実現できるのです。その工程の大部分は手作業で行われています。こうしたレンズづくりに対するこだわりが、従来の技術的な限界を打ち破る画期的なレンズを生み出すのです。

他社製レンズとの互換性

Sアダプターの各種を装着することにより、既存のミドルフォーマットシステムのレンズを使用できるので撮影の幅が広がります。他社製レンズの多くはS型カメラ側から電子制御できるため、本来のカメラシステムと同様に絞り値の設定やオートフォーカスでの撮影も可能です。最新鋭のミドルフォーマットのデジタルカメラで撮影したような、ハイレベルな描写を満喫できます。

セントラルシャッター

メインスイッチを切り換えるだけで、カメラ本体が搭載したメタルブレード・フォーカルプレーンシャッターで撮影するか、レンズ内のセントラルシャッターで撮影するかを選ぶことができます。セントラルシャッターの最高シャッタースピードは1/1000秒。プロレベルのライティングを活用すれば、ロケ撮影で絞りを開いた日中シンクロ撮影などが可能になり、クリエイティブな表現の領域が大きく広がります。フラッシュ同調速度は、フォーカルプレーンシャッターでは1/125秒ですが、セントラルシャッターでの最高シャッタースピードは1/1000秒です。セントラルシャッターならフォーカルプレーンシャッターよりも3段ほど速くしてフラッシュ撮影できるので、よりクリエイティブな表現が可能です。ほとんどのSレンズでセントラルシャッターを搭載した「CSレンズ」をラインアップしています。

LEICA **S-SYSTEM**

優れた操作性



INTUITION

直感的な操作性

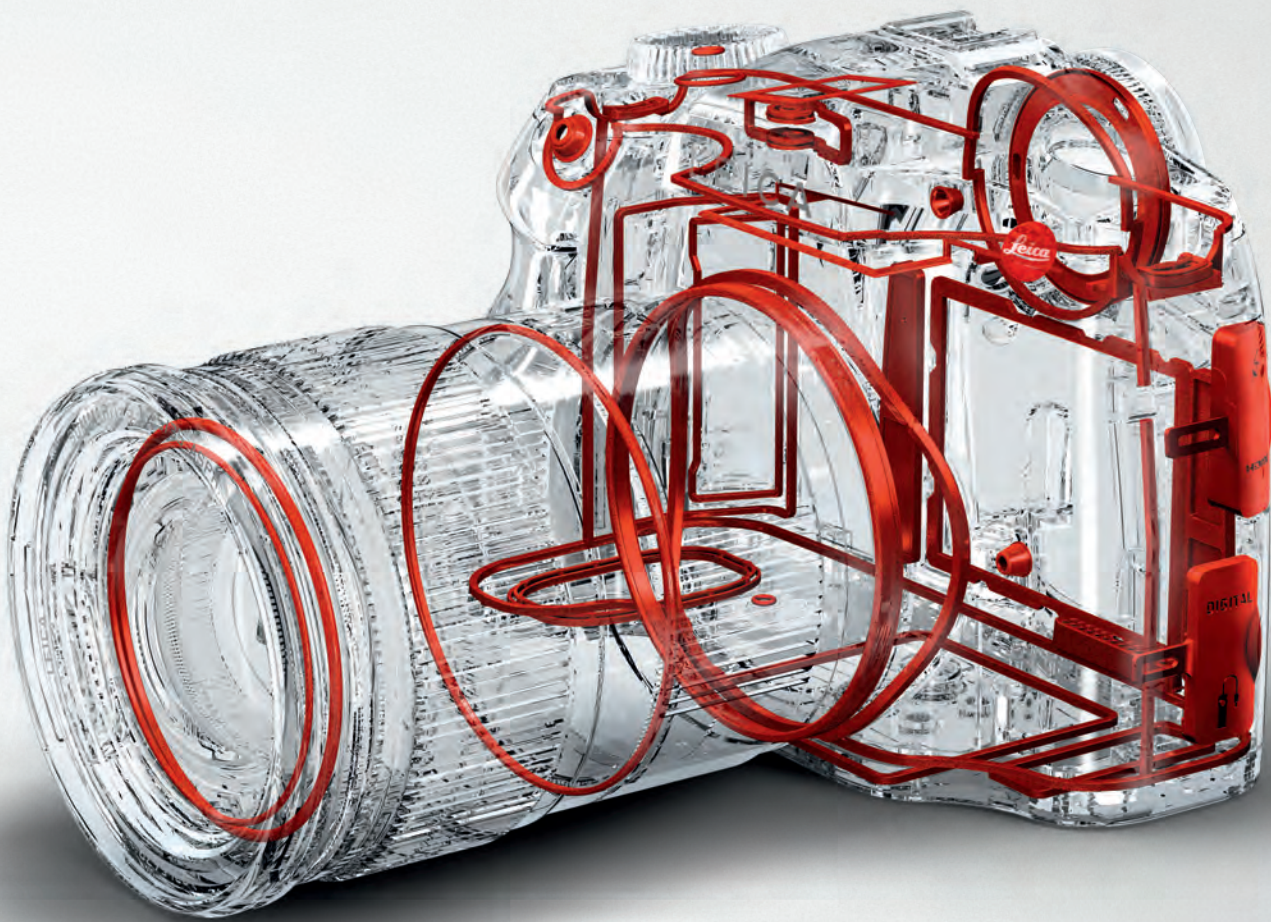
Sシステムの操作系には、すみずみに至るまでひとつのコンセプトが反映されています。それは、「少ないほど使いやすい」という思想です。この思想に基づき、操作部の数を必要最小限にとどめているので、多忙なスケジュールの中でも常にカメラを的確にコントロールしながら撮影できます。また、操作のほとんどが、わかりやすいレイアウトのメニューだけを使ってシンプルに行うことができます。プロユースを前提にした設計ながらも操作方法がすぐに把握できるライカSなら、慌ただしい現場でも時間をロスすることなく狙い通りの写真を撮影できます。

エルゴノミクス

ライカSでは、必要最小限の操作部でかわめて直感的に操作できるコンセプトを採用しました。機能の選択・設定は、主にクリックホイールとジョイスティックで行います。これらの操作部は、右手の親指で操作しやすい位置にレイアウトしており、絞り値の設定やメニュー操作が簡単に行えます。背面の液晶モニターの周囲には、4つのボタンを配置しています。メインスイッチは、フォーカルプレーンシャッターとセントラルシャッターの切り換えにも使います。ライカS-Eでは従来どおりシャッタースピードダイヤルを採用していますが、ライカSではこれを進化させたシャッタースピードダイヤル兼用のマルチファンクションダイヤルを搭載しています。また、手にフィットするグリップ形状や、重心を中央に集中させた比較的軽量なボディのおかげで、疲れを感じることなく快適に撮影できます。

NO LESS THAN
150.000
SHUTTER CYCLES

構造	実際の撮影環境において描写力や操作性と同様に重要なのが、信頼性です。Sシステムでは開発がスタートした時点から、耐久性と堅牢性を重要視してきました。Sシステムでは、高品質の素材、厳選されたパーツ、そしてきわめて高度な設計や構造を採用しています。これにより、毎日の過酷な環境下でのプロフェッショナルの要求にしっかりと応え、長年にわたって真価を発揮し続けるという高い信頼性を、カメラ本体でもレンズでも実現しています。
素材	ライカSのボディの材質にはマグネシウムダイキャストを使用しています。この高い強度の素材により、高い堅牢性と軽量化の両立が可能になっています。その他の素材もすべて、きわめて品質が高く、頑丈かつ機能的です。液晶モニターのカバーガラスには、非常に硬くて耐傷性に優れたCorning® Gorilla® Glassを採用しており、長い年月を経ても画面の表示が見にくくなることはありません。また、ライカのカメラとしては初めて、非常に丈夫なステンレス製のバヨネットを採用。高精度の技術を用いて製造しているため、レンズ交換を繰り返しても傷がつくことはありません。
シーリング	防塵・防滴のためのシーリングを随所に施すとともに、操作部などのパーツも特殊な設計で保護しているため、ほこりや水滴がカメラ本体の内部に侵入することはまずありません。もちろん、レンズも防塵・防滴に配慮。特別な構造を用いることでフォーカシング時もレンズの全長が変わらない構造になっているので、内部に空気が入り込む心配はありません。また、「ライカ アクアデュラ™」コーティングを保護用に施した特殊なカバーガラスも採用しています。これにより、カバーガラスの表面がほこりや水滴をはじくので、厳しい環境下でもその性能をフルに活用して撮影できます。
パーツ	Sシステムを構成するパーツは、機能性だけでなく耐久性や異常の生じにくさも重点的にチェックしながら、ひとつひとつ細心の注意を払って厳選しています。また、普通であれば気に留めないような細かい部分にもこだわっています。例えば、USBやリモートリリース、オーディオ用の端子、シンクロターミナルにはストレーンリリーフ付きのLEMOプラグを採用し、水滴の侵入を防ぐだけでなく、確実に接続できるように配慮しています。



36
SEALS

LEICA S-SYSTEM

ミドルフォーマットで映画のような映像を

4K VIDEO

ミドルフォーマットで動画撮影

「ウル・ライカ」に映画用の35mmフィルムが転用されてから100年以上の月日が流れた今、ミドルフォーマットのSシステムでも動画撮影が可能になりました。Sレンズや他社製のレンズを使用して、圧倒的な高画質で映像表現を実現できます。ライカSの本体上面に追加された動画撮影用の専用ボタンで動画の撮影ができます。

フォーマット

撮像素子「LEICA MAX CMOSセンサー」と画像処理エンジン「LEICA MAESTRO（ライカ・マエストロ）II」により、プロ水準のシネマ品質の4K動画や、フルHD撮影に必要な45mm幅のセンサーの横幅をいっぱいに使ったフルHD動画の撮影が可能になりました。この撮像素子と画像処理エンジンに、圧倒的な描写性能を誇るSレンズを組み合わせることで、映画ファンをも魅了するほどの映像美を実現できます。ライカSで撮影した動画も、写真と同様のライカ独特の美しいボケ味で、観る人の心を揺さぶる作品に仕上がります。

撮影した動画は、4:2:2でサブサンプリングされてタイムコード付きのMOV形式で保存されますが、保存後でも画質が低下することはありません。圧縮形式にはMotion JPEGを採用しています。Motion JPEGでは動画を1フレームずつ圧縮して記録するため、動画編集をスムーズに行うことができます。動画を4Kなどの解像度で記録メディアに記録する以外にも、フルHD動画を非圧縮でHDMIストリーミングすることも可能です。動画を外部モニターで再生したり、外部HDMIレコーダーに記録したりできます。

動画撮影に便利な機能

ライカSでの動画撮影では、Sレンズはもちろん、Sアダプターに対応する他社製のレンズも使用できます。ピント合わせはマニュアルフォーカスとなりますが、手動でのピント合わせをサポートする機能も搭載しています。「フォーカスピーキング」機能では、ピントが合っている被写体の輪郭が強調表示されるので、ピントの状態を一目で確認できます。その他にも、動画撮影時のピント合わせに便利な機能として、クリッピング警告機能とグリッド表示機能を搭載しています。

音質

動画に付随する音声は、内蔵マイクのほか、外部マイク（いずれも48kHz/16bit）を装着して録音することもできます。外部マイクで録音するには、別売アクセサリーのオーディオアダプターSが必要です。音声はステレオ録音されます。録音レベルを自動または手動で調整することも可能です。



LEICA S

新次元のミドルフォーマット

Sシステムはミドルフォーマットの中で異彩を放つカメラシステムであり、ライカSはミドルフォーマットによる新たな撮影領域を切り拓くカメラです。

新しい撮像素子「LEICA MAX CMOSセンサー」は、解像度およびダイナミックレンジの点において、ミドルフォーマットカメラで求められる性能を実現し、一方「ライカ プロフォーマット」は、画素に適切なスペースを持たせることで、プロフェッショナルの要求を満たす高水準な画質を実現しました。この優れた描写性能を、標準的な感度設定はもちろん定常光でも存分に活かして撮影できます。また、これまでは速写性を高めるにはフォーマットのサイズを犠牲にせざるを得ないと考えられていましたが、ライカSではこの常識を打ち破ることに挑戦。その結果、高速のシャッターユニット、「LEICA MAX CMOSセンサー」、画像処理エンジン「LEICA MAESTRO（ライカ・マエストロ）II」、予測AFの組み合わせにより、ミドルフォーマットの高画質と35mmカメラの速写性を同時に実現しました。さらに、撮像素子とSレンズが可能にする卓越した描写力を、静止画だけでなく動画でも活用できるのも大きな魅力で、映画のような4K画質や高精細なフルHD画質で動画を撮影できます。





原寸大

3.5

FRAMES PER SECOND

CMOSセンサー

「ライカ プロフォーマット」を採用した撮像素子「LEICA MAX CMOSセンサー」は、CMOS技術をSシステムに応用したものです。これにより、動画撮影とライブビューの2つの機能が新たに追加されることになりました。また、ダイナミックレンジが15段階に拡大されており、これまで以上にハイライト部からシャドウ部までが階調豊かに再現できます。ISO感度は最高12500まで設定可能で、スタジオでの撮影でもライティングを気にする必要はありません。フォトジャーナリズムをはじめ、コンサートや結婚式など、定常光での撮影でラージフォーマットが好まれるシーンでも、ライカSならしっかり対応できます。

画像処理エンジン 「LEICA MAESTRO II」

S型カメラに含まれる電子部品はどれも、高速データ通信に適した設計になっています。また、撮像素子に組み込んだA/Dコンバーターにより、画質を劣化させることなく画像データを高速で読み出すことが可能になっています。その画像データを処理するのが、ライカのために特別設計された「LEICA MAESTRO (ライカ・マエストロ) II」です。バッファメモリーも大容量の2GBなので、画像生成に必要なあらゆる処理が高速で行われます。この圧巻の高速処理性能のおかげで、ミドルフォーマット最速となる3.5コマ/秒の連続撮影を達成しています。従来の「LEICA MAESTRO」よりも4倍速い処理が可能のほか、さらなるノイズ低減にも貢献しているこの新しい画像処理エンジンは、撮影者の意思に瞬時に反応してくれる頼もしい存在です。

オートフォーカス

Sシステムのオートフォーカスは、システム内の他の要素とあらゆる面でマッチするつくりになっています。また、カメラ本体とレンズは一体になってシャープな描写をもたらします。オートフォーカスのメカニズムは高速かつスムーズに動作するように製造されており、被写体の最後のわずかな動きにも対応して、きわめて鮮鋭に描き出します。オートフォーカスは被写体の次の動きも予測できるので、一瞬をダイナミックに描写できます。

LIVE VIEW

ファインダー

大型のファインダーは「ライカ プロフォーマット」のおかげで画面が驚くほど明るく、構図の決定やピント合わせが厳密に行えます。ファインダー像が鮮明なのは、高度な設計のミラーとペンタプリズム、そして明るいSレンズのおかげでもあります。ファインダー画面の下部には、シャッタースピード、絞り値、ISO感度など、撮影時にポイントとなる情報がすべて表示されます。また、水平方向と上下方向のカメラの傾きを±1°未満の誤差で正確に示す電子水準器も表示できます。ファインダーから目を離さなくても、必要な情報がいつでも確認できます。



原寸大

液晶モニターと 上面ディスプレイ

背面には、921,600ドット、広視野角170°の3.0型液晶モニターを搭載しています。液晶モニターはこれまで、メニュー操作や撮影画像のチェックだけに使われるものでしたが、ライカSでは最大60コマ/秒のフレームレートのライブビュー映像を表示できます。また、上下方向と水平方向の傾きを示す水準器、フォーカスピーキング、明るさおよび露出設定、画像の輝度を効率的にチェックできるヒストグラム（常に画像内で現在表示されている範囲の情報を反映）を表示して、撮影に活用することもできます。

液晶モニターのカバーガラスには、耐傷性に優れたCorning® Gorilla® Glassを採用しています。上面ディスプレイには、外光を光源として利用することもできる半透過型液晶を採用しており、どんな光の状況下でも高い視認性を発揮します。

ライブビュー機能と テザー撮影

スタジオ撮影では、テザー撮影のほうが思いどおりにフレーミングしやすいケースが少なくありません。テザー撮影用のソフト「LEICA Image Shuttle 3.0」を使えば、撮影直後に画像をダイレクトにパソコンに転送してパソコンの画面でチェックする以外にも、画像の設定やAFフレームの位置の変更をパソコンから行えます。テザー撮影のテクノロジーの進化により、「LEICA Image Shuttle 3.0」には撮影直後の画像を表示する以外の機能も備わりました。ライカ Sと「LEICA Image Shuttle 3.0」は、従来のUSB2.0よりもさらに高速にデータ転送できるUSB3.0に対応しています。LEMOプラグを採用した専用のUSBケーブルは長さが5mあり、テザー撮影の自由度が高まります。このUSBケーブルは増幅回路を内蔵しているため、確実なデータ送信が可能になっています。



原寸大

最適設計の クイックリターンミラー

N 50° 33.134 E 008° 32.236

「素早く撮影できるミドルフォーマット」この表現がふさわしいのがSシステム。35mmより大きいカメラでは最も速写性に優れた一眼レフカメラです。ライカの技術者たちは、速写性を最大限に高めるためにカメラの構造の合理化を行いました。そこではまず、一眼レフカメラの根幹をなす可動部品のひとつ、クイックリターンミラーを見直すことから着手しました。クイックリターンミラーの設計は、連写速度とブラックアウトの長さを左右します。そして試行錯誤の末に、ミラーの動作の速度を向上させることに成功しました。その結果、撮像素子が小さいデジタルカメラと遜色ない性能を持つファインダーと、カメラ全体の動作の高速化が実現しました。これに加えて、ミラーショックを効果的に低減することにも成功しています。

USB3.0

撮像素子などのカメラ内部での高速情報処理など、ハイスピードが自慢の一眼レフも、パソコンへの画像データの転送が高速でなければ頼りになりません。USB3.0に対応しているライカSなら、一般に広く普及しているFirewire 800よりも高速のデータ転送が可能です。コンパクトフラッシュメモリーカードやSDメモリーカードに保存された画像データを瞬時に読み込むことができます。パソコンからカメラをリモート操作するテザー撮影をスピーディーかつ確実に行う際にも、USB3.0が大きく貢献します。

GPS機能

プロ仕様のデジタル一眼レフカメラとしては唯一、GPS機能を搭載しています。GPS機能では、撮影場所の位置情報を撮影画像のExifファイルに記録できます。また、GPS衛星からの電波に基づいて自動的に現在のタイムゾーンを特定し、カメラの時計を現地時間に合わせることができます。Adobe® Photoshop® Lightroom®（無償ダウンロードにより提供）では、GPS機能によって記録された情報を用いて、撮影した写真を撮影場所や撮影時間とともに地図上に正確に表示することができます。フォトジャーナリストにとっては、時間と労力を割いて撮影情報を逐一記録する必要がなくなり、撮影だけに集中できるので、非常に便利な機能です。

LEICA **S-E**

先進のエントリーモデル

昔ながらのスタイルで撮影することに主眼を置いたカメラ。それが、Sシステムを構成するもうひとつのS型カメラ、ライカ S-Eです。ボディ設計のマイナーチェンジやオートフォーカス性能の向上などの総合的な改良を経て、Sシステムのサクセスストーリーを受け継ぐカメラとして新たに生まれ変わったライカ S-E。Sシステムのコンセプトである「最高の描写を実現すること」を念頭に、Sシステムの特長的な要素はすべて踏襲しつつ、それぞれの機能を最適に調整しています。もちろん、高性能なSレンズも多彩なラインアップを誇るアクセサリも存分に活用できます。最先端のミドルフォーマット一眼レフカメラの優れた機能を駆使しつつ、ファインダーをのぞきながら構図を決めて、美しいボケ味のある絶妙な描写を追求したい。そんなクラシックなスタイルの写真撮影をお望みであれば、ライカS-Eほど理想的なカメラは他にはありません。





原寸大

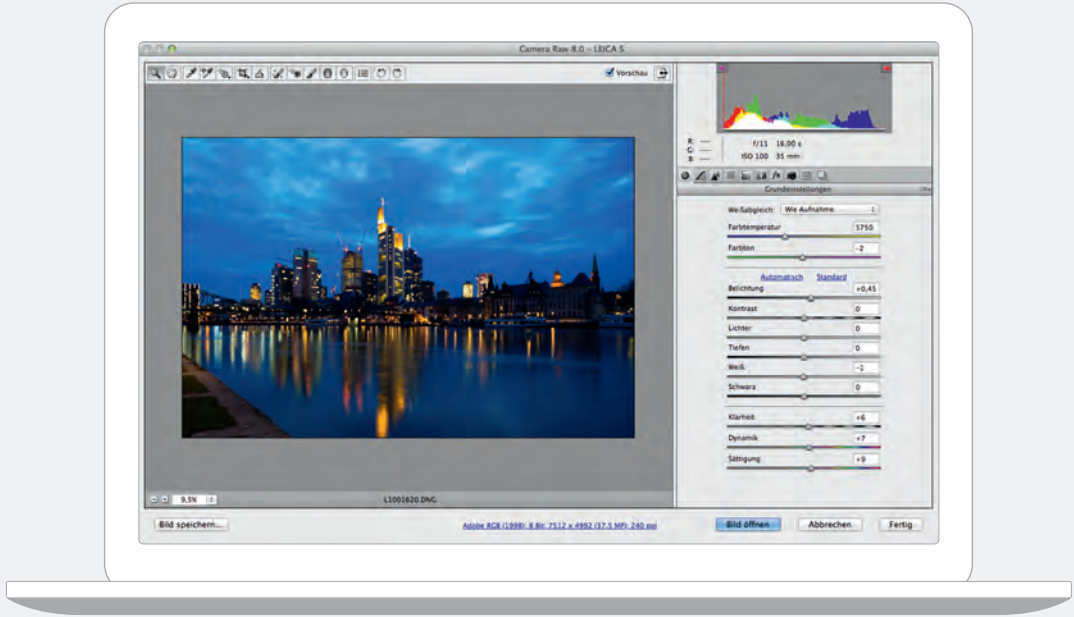
CCDセンサー	定評あるライカのCCD技術の粋を集めて開発したライカS-Eの撮像素子は、シャープかつクリアな高画質を実現します。この撮像素子が生み出す描写はきわめて自然な印象であるため、撮影後にデジタル補正する必要はほとんどありません。また、集光効率も向上しているので、ノイズを抑えつつダイナミックレンジをフルに活かして撮影できます。
オートフォーカス	オートフォーカス機構も新たに開発しており、さらなる高速・高精度を達成しました。きわめて精度が高いAFセンサーと最適に調整されたAFモーター（絶妙な加減速により、スムーズかつ静かに駆動しながら、的確に被写体を捕捉することが可能）で構成されるこのオートフォーカス機構なら、どんなシーンでも撮影者の信頼を裏切りません。
本格的なエントリーモデル	高度な画像処理システム、快適な操作性、堅牢性と耐久性を高めた構造、上質な素材など、Sシステムの優れた特長をすべて備えているライカS-Eですが、ライカSとは異なり、シンプルに写真を撮影することだけにスポットを当てて機能を選んでいきます。もちろん、優れたレンズや豊富なアクセサリーはしっかりと活用できます。Sシステムのエッセンスを凝縮した本格的なエントリーモデルのライカS-Eも、ライカSと同様に最高の描写を約束します。

LEICA S-SYSTEM

プロフェッショナルなワークフロー



「Adobe® Photoshop® Lightroom®」を付属しています。



DNG形式で記録した画像データは、「Adobe® Camera® Raw®」に直接取り込めます。

柔軟な対応力

作品制作のワークフローにシームレスに取り入れることができる柔軟性を備えているかどうか、カメラにとっては重要です。ライカSは、画像データを記録する形式を、特定のソフトでなくても現像可能な、劣化の少ないDNG（RAW）形式と、高画質のJPEG形式の2種類から選べます。また、記録媒体をコンパクトフラッシュメモリーカードとSDメモリーカードの2種類から選んだり、パソコンとのUSB接続やタブレットとのWi-Fi接続でリモート操作して撮影したりと、さまざまなオプションが選択可能。刻々と変わる状況に合わせてスピーディーかつフレキシブルに対処することも、作業で使うツールに合わせて的確に対応することもできます。

利便性の高いDNG形式

撮像素子から出力された生のデータを、一切の情報を失わずにそのまま記録するRAW画像は、パソコンでの後処理で自由に調整して最高画質に仕上げることでできます。Sシステムでは、RAWファイルの標準フォーマットであるDNG（Digital Negative）形式で画像データを記録できます。DNG形式はAdobe社が開発したRAWファイル形式で、多くのメーカーがサポートしています。また、「Adobe® Photoshop®」ファミリーをはじめ、ほとんどのRAW現像ソフトや画像処理ソフトでDNG画像を直接取り込んで作業できるので、自分流のワークフローに従って撮影後の作業が自由自在に行えます。ライカSは、DNGの現行バージョンである「DNG 1.4」をサポートしています。「DNG 1.4」では、すべての画像と色の情報に加え、撮影距離や絞り値などのメタデータが記録されます。「DNG 1.4」をサポートするソフトを使えば、ファイル形式の変換やプロファイルの追加などをせずに、最高画質の画像に現像できます。ライカSでは、ファイルサイズを約半分にできるロスレス圧縮の方式でDNG形式の画像を記録します。

シームレスなワークフロー

「Adobe® Photoshop® Lightroom®」は、デジタル画像処理に必要な機能を網羅した総合的なソフトで、撮影後のワークフローの要として威力を発揮します。画像の取り込み、画像の分類（キーワードの付加を含む）、画像処理、電子メールでの画像の送信、ウェブサイトへの画像の公開など、さまざまな機能を装備しています。なかでも画像処理機能は非常に洗練されており、用途に合わせて効果的に画像処理が行えます。また、RAW画像処理に最適な非破壊編集も可能で、オリジナルのデータを維持したまま、画像に施した編集内容を別のファイルに保存できます。ファイルに保存した編集内容は画像を出力する段階でオリジナルのデータに適用されるため、1枚の画像で複数のバージョンの編集を行っても、誤ってオリジナルのデータに上書き保存してしまう心配はありません。さらにレタッチを行いたいときは、「Adobe® Photoshop®」などの標準的な編集ソフトに画像を取り込んで作業ができます。

使用レンズに応じて 画像を自動補正

Sレンズでは諸収差を良好に補正していますので、目立って気になることはほとんどありません。しかし、諸収差を完全に除去することは不可能で、特定の条件において画像周辺部で直線が曲がって写るなどの問題がごくまれに生じます。「Adobe® Photoshop® Lightroom®」と「Adobe® Camera® Raw®」はSレンズのプロファイルをサポートしており、「レンズ補正」機能を使えば、撮影に使用したSレンズのプロファイルに応じて画像にわずかに残っている歪曲収差や色収差を自動的に補正できます。Sレンズのプロファイルは、設計データと徹底した実用試験に基づいて測定されたものです。DNG形式で記録した画像には、焦点距離、絞り値、撮影距離などの厳密なデータがレンズを通して記録されており、このデータとレンズのプロファイルを用いて画像の補正が行われます。「レンズ補正」は画像の後処理にかかる時間を大幅に節約できる機能で、被写体にかかわらず常に最高の描写を実現できます。

LEICA S-SYSTEM

プロフェッショナルなワークフロー



LEICA Image Shuttle

スタジオ撮影では、テザー撮影（パソコンからカメラを操作する撮影）のほうが都合がいいケースが少なくありません。テザー撮影では、撮影した画像を自動的にパソコンに転送し、パソコンの画面で画像を細かくチェックできるため、一連の作業がスムーズに行えます。「LEICA Image Shuttle 3.0」は、テザー撮影に最適なソリューションです。カメラとパソコンをUSB接続（ライカSでは高速転送が可能なUSB3.0に対応、ライカSのUSB端子は堅牢な構造でストレインリリーフ付き）するだけで、パソコンでリモート操作しながら撮影できます。「LEICA Image Shuttle 3.0」使用中でも、テザー撮影と通常の撮影の切り換えが可能です。撮影した画像は瞬時にパソコンの画面に表示できるので、カメラの液晶モニターに表示するよりも厳密に画像をチェックできます。シャッタースピードや絞り値などのすべての露出設定のほか、ピント合わせもパソコンのキーボードで操作が可能です。ライカSでは、パソコンの画面でライブビュー映像を見ながら静止画や動画を撮影することもできます。パソコンの画面でAFフレームの位置を変更したり、ライブビュー映像を100%拡大してピントを確認したりすることもできます。フォルダー管理機能を使えば、撮影した画像を保存するフォルダーを事前に指定したり、別のソフトに自動的に取り込んで作業を続けることが可能です。

Leica S App

「Leica S App」は、iPhone/iPadからライカ Sをリモート操作できるアプリです。「Leica S App」では、ライカ SとiPhone/iPadをワイヤレスで接続して、iPhone/iPadの画面をファインダー代わりにして撮影できます。また、画面をタップしてライブビュー映像を拡大して被写体の細部を映したり、撮影に必要な主な設定を行ったりすることも可能。もちろん、動画もリモート操作で撮影できます。撮影した画像はiPhone/iPadに転送して画面に表示したり、不要であれば削除することも可能です。撮影した画像をSNSにアップしてシェアするのも簡単です。

テザー撮影用ソフト

テザー撮影は「Adobe® Photoshop® Lightroom®」でも可能です。「Adobe® Photoshop® Lightroom®」では、パソコンからのリモート操作やカメラのシャッターレリーズボタンで撮影した画像は「カタログ」に自動的に読み込まれ、パソコンの画面に表示されます。「LEICA Image Shuttle」では、ライブビューをはじめとするさまざまな機能を活用してテザー撮影する以外にも、撮影した画像を「Adobe® Bridge®」に直接取り込み、さらに「Adobe® Photoshop®」などに取り込んで編集作業を行うことができます。テザー撮影時のカメラとパソコンの接続にはUSB3.0を使用するので、高速かつ確実に画像データを転送できます。

LEICA S-LENSES

最高峰のレンズ



いかに優れたカメラでも、レンズそのものの描写力を向上させることはできません。それゆえ、ライカの設計技術者たちは決して妥協することなく、レンズ技術の限界に挑戦し続けています。Sレンズは、伝統のあるライカのクオリティと最先端のテクノロジーとの融合によって生まれました。レンズに対するライカの品質へのこだわりは、「シーンや状況に左右されずにいつでも信頼のできるレンズを提供する」という単純明快なポリシーに基づいています。このポリシーを貫くことで、無限遠から最短撮影距離まで、そして絞り開放から最小絞りまで、一貫して高い描写性能を発揮するSレンズができるのです。

ライカは、100年以上かけて蓄積してきたノウハウをベースに、時代の先端をゆく製法を取り入れることで、非球面レンズを採用した最高レベルの性能の大口径レンズを継続的に生産できる唯一のレンズメーカーという地位を築いています。また、異常部分分散ガラスや高屈折率ガラスなどの高度な専門知識が求められる高品質な特殊ガラスの製造でも、確かな実績を誇っています。

Sレンズはそのほとんどに、各機能を制御するマイクロプロセッサを内蔵しています。また、オートフォーカスでピントを合わせた後でも、フォーカスリングを回してピントを微調整することができます。Sレンズの多くには革新的なセントラルシャッター（レンズシャッター）を搭載したバージョンもあるので、補助光源を活用しながら創造力を自由に発揮しての撮影が可能です。



"Made in Germany"の証、優れたクラフツマンシップと高度なテクノロジー。
高性能なSレンズの製造に欠かせない、2つの大事な要素です。

明るいレンズ

Sレンズはいずれも、抜群の明るさという特長を備えています。また、比類なき描写性能も兼ね備えており、シーンや状況に合わせてできるだけ絞りを開いてクリエイティブな描写が満喫できます。絞り込んでもその描写力はごくわずかに向上されるだけなので、被写界深度を深くしたいとき以外は絞り込む必要はありません。絞りを開放にすれば、他のレンズよりも自由に創造力を発揮して、被写体の特定の部分だけを鮮鋭に際立たせた作画が可能です。シャープな部分となめらかなボケ味がもたらす相乗効果は、完成度の高いライカのレンズでしか実現できない表現です。

レンズとカメラの優れた連動性

Sシステムでは、デジタル撮影専用のカメラシステムというコンセプトにより、描写力を大幅に向上しています。例えば、撮像素子にガラスカバーを取り付けることや、フィルムに比べて被写界深度が浅くなり、詳細な部分がはっきりと表現されることは、各レンズを開発する段階でしっかりと計算に入れていました。その結果、これまでにないほどコントラストの再現性に優れた光学設計が実現しました。そのコントラストの再現性をフルに発揮できるように、高精度なオートフォーカスシステムを採用しています。そして、Sレンズが搭載したマイクロプロセッサがカメラ本体の制御システムと見事に連動し、Sレンズはセンサーを用いて被写体までの距離を継続的に測定しています。オートフォーカスでは、ピントが合った後もフォーカスリングを回してピントを微調整することができます。フォーカスリングには、回す際に適度な抵抗感が生まれる特殊なメカニズムを採用しており、快適に操作できるように配慮しています。

高度な製造技術

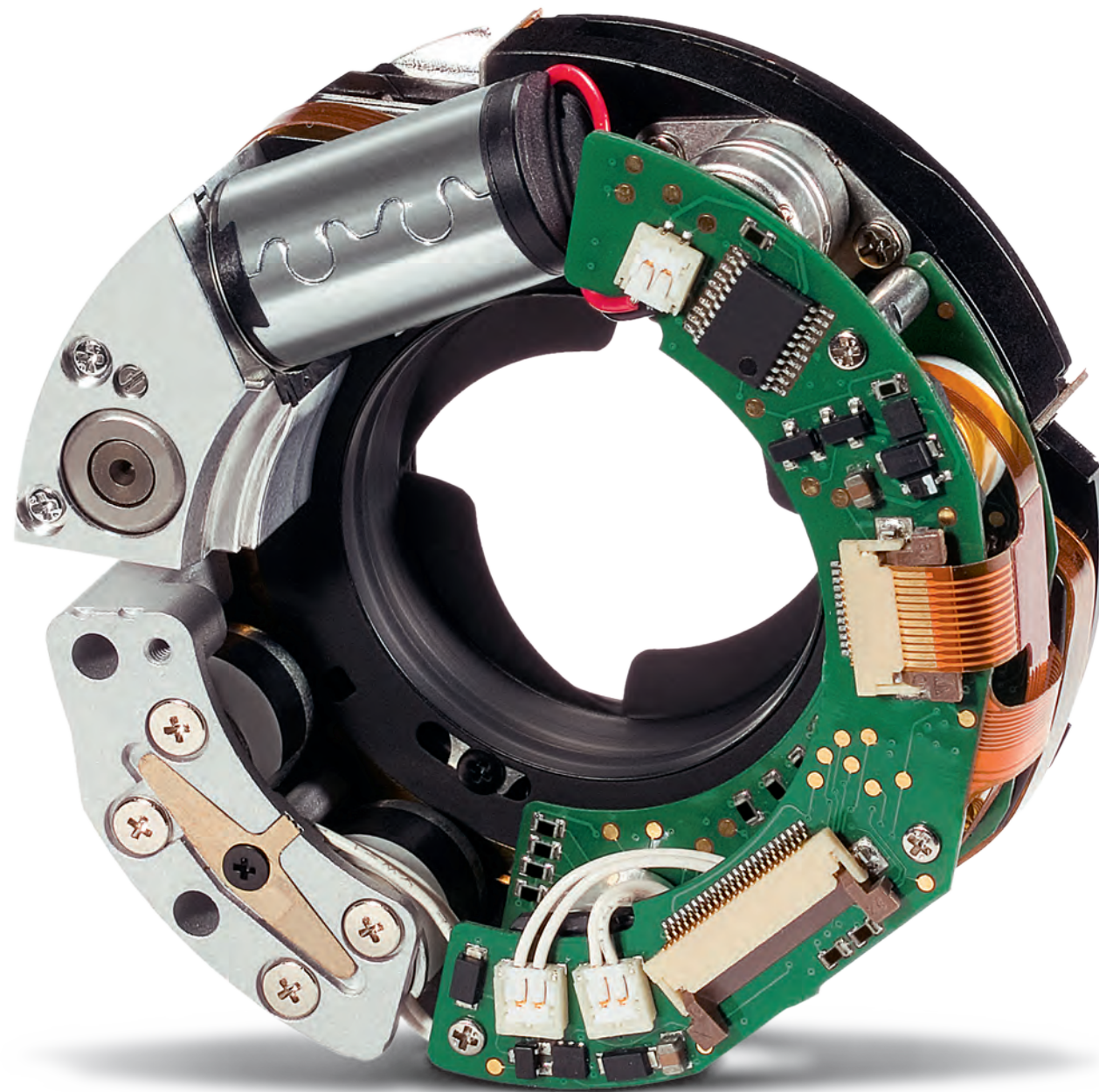
Sレンズの秀逸さのベースとなっている高度な光学設計は、高精度の製造技術があるからこそ可能になります。Sレンズの製造に携わっているのは熟練のスペシャリストたちで、その工程の大部分を手作業で行っています。光学系とメカニズムの両分野にまたがる組み立て・製造において、その完成度を新たな高みに到達させる作業で長年培ってきた経験がなければ、さまざまな数値を高性能なSレンズのスペックに求められる許容値内に確実に収めることはできません。しかも、ライカの技術者たちは、単に許容値内に収まるように調整するだけでなく、時間をかけて可能な限り高い精度に仕上げるように常に努めています。これこそが、実現困難な設計から完璧なレンズに辿りつくための唯一の道なのです。その一方で、レンズ性能の向上に寄与するのであれば、機械による作業も積極的に導入しています、例えば、非球面レンズの製造では機械を用いています。ライカの製造技術や知識と経験の結晶である非球面レンズがなければ、類まれなる性能を備えたSレンズは実現できなかったでしょう。

防塵・防滴性能

Sレンズでも、カメラ本体や一部のシステムアクセサリと同様に、水滴やほこりなどの侵入を防ぐ設計を採用。雨の中でフォーカスリングを回してピントを合わせても影響はなく、バヨネット部やフロントレンズ周辺部から内部に水滴が入り込むことはありません。また、ズマリットS f2.5/70mm ASPH.(CS)はフロントレンズとリアレンズの表面に「ライカ アクアデュラ™」コーティングを施しており、ハスの葉のように水滴やほこりをはじきます。雨天時やほこりの多い環境でも安心して撮影にのぞめる、高い信頼性の構造です。

LEICA S-LENSES

セントラルシャッター



Sレンズのセントラルシャッターは内部に無理なく搭載されたコンパクト設計です。

先進の設計

Sレンズのラインアップの大半が内蔵しているセントラルシャッター。その実現を技術的に可能にした大きな要因は、最先端の素材と製法を導入したこと。最高レベルの精密度と信頼性も兼備しているこのセントラルシャッターは、きわめて明るいSレンズの径に合わせて内径を大きくする一方で、全体のサイズは多くのSレンズで無理なく搭載できるようにコンパクトに設計しており、内径の大きさと外径の小ささを両立した構造になっています。また、10万回以上のリリースに耐える耐久性も備えています。フラッシュ同調速度は1/1000秒なので、プロレベルのライティングを活用してよりクリエイティブな表現が可能。ロケ撮影で絞りを開いて日中シンクロ撮影を行えるなど、創造力を発揮した撮影の領域が無限に広がります。

最先端の素材

光学系にとって、潤滑油、摩耗粉、ほこりは大敵です。そのため、Sレンズのセントラルシャッターは、最先端の素材だけを用い、潤滑油がなくてもすべての可動部が実質的に摩擦なしで動作するようにつくられています。例えば、シャッターブレードには精緻なカーボンファイバーを、シャッター機構のパーツには高機能セラミックや特殊な合成素材を使用しています。全パーツの表面とドリル穴は細心の注意を払って加工されており、摩擦がほとんど生じないように研磨されています。摩擦が生じなければ摩耗することがないので、安定した動作が保証されます。また、Sレンズのセントラルシャッターの製造でクリアすべき条件はきわめて厳しく、組み立てはクリーンルームで行われます。このような過程を経てつくられているからこそ、プロユースの過酷な条件下で何度となくシャッターを切っても、精確な動作が変わることはないのです。

2つのシャッター

撮影時には、カメラ本体が搭載した最高1/4000秒のメタルブレード・フォーカルプレーンシャッターか、レンズ内蔵のセントラルシャッターかを選ぶことができます。シャッターの選択は、カメラ本体のメインスイッチをFPS（フォーカルプレーンシャッター）またはCS（セントラルシャッター）にするだけなので簡単です。フラッシュ同調速度は、フォーカルプレーンシャッターでは1/125秒ですが、セントラルシャッターでは最高シャッタースピードと同じ1/1000秒なので、3段階速くしてフラッシュ撮影できます。

LEICA **SUPER-ELMAR-S** f3.5/24 mm ASPH.



視野が広がる超広角

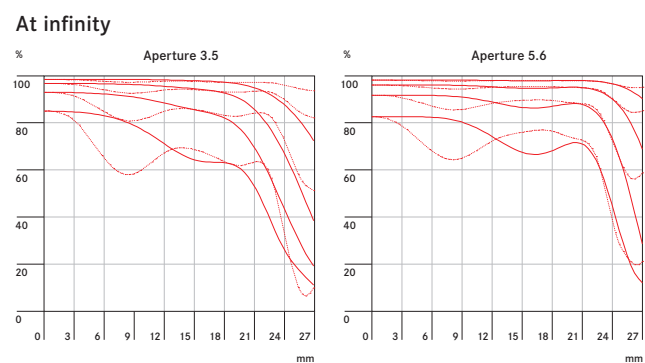
室内での撮影や建築物・風景の撮影で、クリエイティブな表現の幅を広げてくれるレンズです。絞り開放から高コントラスト・高解像な描写を実現できるほか、無限遠から最短撮影距離まで安定して高画質が得られます。また、歪曲収差をほぼゼロに抑えるなど、諸収差を良好に補正しています。焦点距離は35mm判換算で19mm相当です。

レンズ構成

レンズ構成は10群12枚で、5枚に異常部分分散ガラスを用いています。また、そのうち3枚に超低分散性を持つフローライトレンズを用いて色収差を抑えているほか、絞りの後ろにある2枚のレンズとフロントレンズを非球面にすることで単色収差を低減しています。さらに、フォーカシングに応じて中間部の3枚のレンズ群のみが移動するフローティングシステムを採用し、近距離撮影でも高い描写性能を維持できるように配慮されています。

レンズ性能

対角線画角が97°という超広角ながらも、絞り開放からきわめてコントラストが高い描写が得られます。絞り込んでも、歪みの影響は画像周辺角部のごくわずかなので、絞り開放でも十分美しく撮影できます。また、歪曲収差もきわめて良好に補正しています。右のグラフは被写体の持つコントラストをどの程度忠実に再現できるかを表したもので、横軸をライカプロフォーマットにおける像高、縦軸をコントラスト再現率(%)とし、空間周波数が5本/mm、10本/mm、20本/mm、40本/mmのMTF特性を示しています。実線は放射方向、破線は同心円方向です。



LEICA **VARIO-ELMAR-S** f3.5-5.6/30-90 mm ASPH.



シーンを選ばずマルチに活躍

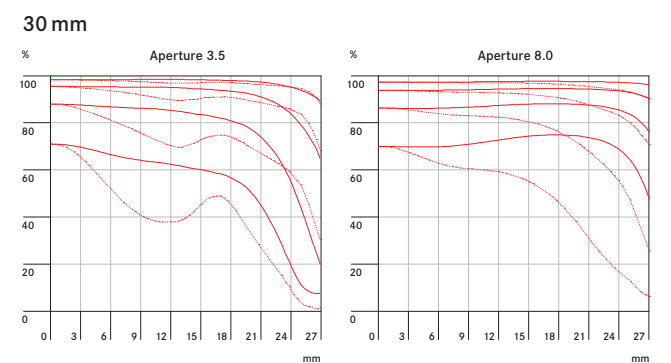
35mm判換算で24～72mm当の画角をカバーするズームレンズです。幅広いシーンで使える実用的なズーム域と軽量・コンパクトなボディが特長で、全撮影距離で絞り開放から圧倒的な高画質が得られますので、短焦点レンズ代わりに選べる1本です。さまざまなシーンに対応できるだけでなく、長時間でも疲れを感じずに撮影できます。

レンズ構成

レンズ構成は4群14枚です。9枚に異常部分分散ガラスを用いており、そのうち3枚が超低分散性を持つフローライトレンズで、色収差を低減しています。また、後群のレンズに非球面を2面採用して単色収差を抑えています。非球面は第2群の最前部のレンズにも1面採用しており、歪曲収差を抑えるとともに、近距離撮影での描写性能を高めています。

レンズ性能

ズーム全域・全撮影距離で絞り開放から高コントラストかつ高解像で歪曲収差もほとんどない描写性能を達成しています。1段絞り込んでも画質はわずかに改善されるだけなので、絞り開放でも十分美しく撮影できます。右のグラフは被写体の持つコントラストをどの程度忠実に再現できるかを表したもので、横軸をライカプロフォーマットにおける像高、縦軸をコントラスト再現率(%)とし、空間周波数が5本/mm、10本/mm、20本/mm、40本/mmのMTF特性を示しています。実線は放射方向、破線は同心円方向です。



LEICA **ELMARIT-S** f2.8/30 mm ASPH. (CS)



世界をワイドに描き出す

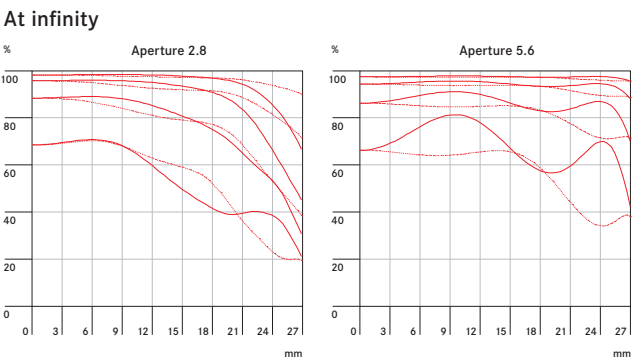
35mm判換算で24mmに相当する画角を持つ超広角レンズです。絞り開放から高コントラスト・高解像な画質と、無限遠から最短撮影距離まで均一に高い描写力を実現しています。また、歪曲収差を極限まで抑えるなど、諸収差も良好に補正しています。セントラルシャッターを搭載したCSバージョンもあります。

レンズ構成

9群13枚のレンズのうち、5枚が異常部分分散ガラスからつくられており、そのうち3枚は低分散性を持つフローライトレンズで、色収差の低減に貢献しています。また、超高屈折率のレンズ3枚と非球面レンズ2枚を採用することで、単色収差を補正しています。後群の6枚だけがフォーカシングに応じて移動する構造により、全撮影距離で安定して高画質な描写を実現します。

レンズ性能

対角線画角が84°という超広角ながらも、絞り開放からきわめてコントラストが高い描写が得られます。絞り込んでも画像周辺部の画質がぐくわずかに改善されるだけなので、絞り開放でも十分美しく撮影できます。また、最大歪曲収差は2.8%で、超広角レンズとしてはきわめて良好に補正しています。右のグラフは被写体の持つコントラストをどの程度忠実に再現できるかを表したもので、横軸をライカプロフォーマットにおける像高、縦軸をコントラスト再現率(%)とし、空間周波数が5本/mm、10本/mm、20本/mm、40本/mmのMTF特性を示しています。実線は放射方向、破線は同心円方向です。



LEICA **SUMMARIT-S** f2.5/35 mm ASPH. (CS)



ジャンルを選ばない万能レンズ

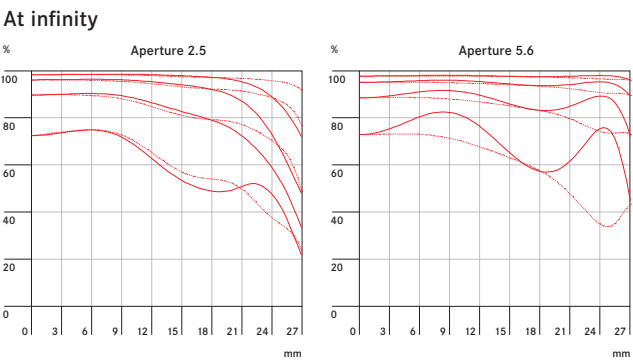
35mm判換算で28mm相当の画角を持つ広角レンズです。スタジオ撮影から建築物や風景の描写まで、さまざまな用途に理想的です。非常に明るいうえ、全撮影距離で絞り開放から高コントラストに描き出す性能を備えているため、オールラウンドに活用できます。高度な光学設計により、歪曲収差や色収差などの諸収差も徹底して補正しています。セントラルシャッターを搭載したCSバージョンもあります。

レンズ構成

色収差を最小限にするために、光学系を構成する11枚のレンズのうち5枚に異常部分分散ガラスを用いています。その5枚のうち3枚は超低分散性を備えています。また、精巧につくられた非球面レンズを2枚採用することで、歪曲収差などの諸収差をきわめて低いレベルに抑えています。さらに、リアフォーカス方式を採用し、近距離撮影でも高い描写力を発揮するように工夫しています。

レンズ性能

大口径にもかかわらず、絞り開放からコントラストに優れた画像が得られるのが特長です。絞り込んでも画像周辺部の画質がぐくわずかに改善されるだけなので、絞り開放でも描写性能を十分に活用できます。最大歪曲収差はわずか1.2%なので、あらゆる用途で使用できます。撮影後に収差を補正する必要はありません。右のグラフは被写体の持つコントラストをどの程度忠実に再現できるかを表したもので、横軸をライカプロフォーマットにおける像高、縦軸をコントラスト再現率(%)とし、空間周波数が5本/mm、10本/mm、20本/mm、40本/mmのMTF特性を示しています。実線は放射方向、破線は同心円方向です。



LEICA **ELMARIT-S** f2.8/45 mm ASPH. (CS)



パーフェクトな定番レンズ

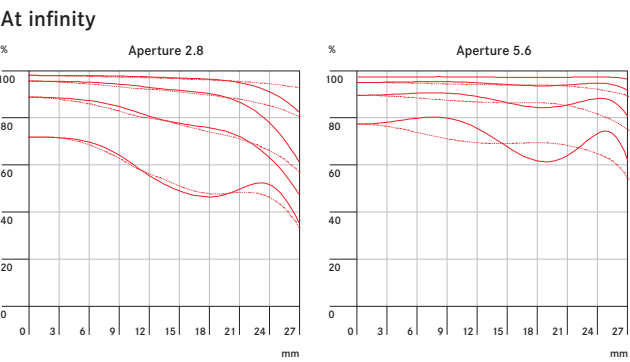
適度に広い画角と自然な遠近感で、スタジオでの撮影だけでなく風景や建築物の撮影にも適したレンズです。きわめて精巧な光学設計のおかげで、絞り開放でも最短撮影距離でも高コントラストな描写が可能です。諸収差も効果的に補正しており、単色収差をほぼゼロに、色収差を最低限に抑えています。焦点距離は35mm判換算で35mm相当です。セントラルシャッターを搭載したCSバージョンもあります。

レンズ構成

光学系を構成する12枚のレンズのうち、3枚が異常部分分散ガラスからつくられており、色収差を低減しています。また、2枚は超低分散性を持つ高屈折率ガラスからつくられています。さらに、非球面を1面取り入れることで単色収差を抑制しているほか、リアフォーカス方式を採用することで近距離撮影でも高い描写力を発揮するようにしています。

レンズ性能

絞り開放からコントラストに優れた描写が可能な大口径レンズです。わずかに絞り込むだけで、画像周辺部でも十分な高画質が得られます。最大歪曲収差はわずか1%なので、きわめて高い水準の仕上がりが要求される用途でも、撮影後に補正する必要はありません。右のグラフは被写体の持つコントラストをどの程度忠実に再現できるかを表したもので、横軸をライカプロフォーマットにおける像高、縦軸をコントラスト再現率（%）とし、空間周波数が5本/mm、10本/mm、20本/mm、40本/mmのMTF特性を示しています。実線は放射方向、破線は同心円方向です。



LEICA **SUMMARIT-S** f2.5/70 mm ASPH. (CS)



かつてない高性能

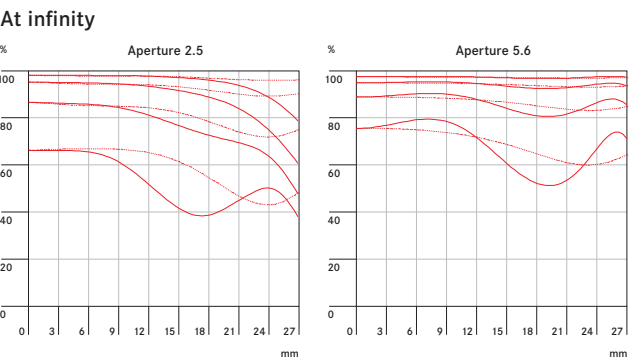
開放F値2.5の明るさと優れた描写力を備えた、広範な用途に対応する標準レンズです。全撮影距離で絞り開放から高画質が得られます。光学系には、単色収差を最小限に抑える目的で非球面レンズを採用。70mmレンズとしては珍しい非球面レンズの存在が、光学性能の高さの証となっています。焦点距離は35mm判換算で56mm相当です。セントラルシャッターを搭載したCSバージョンもあります。

レンズ構成

レンズ構成は6群8枚です。高い異常部分分散特性を持つガラスからなる2組の接合レンズが色収差を低減し、非常に高い屈折率を持つレンズと非球面レンズが単色収差を抑制しています。また、光学系の一部として最前面にフィルターを搭載しており、防塵・防滴の役目を果たしています。こうしたレンズ構成に加え、フローティングシステムを採用することで、近距離撮影時の描写力を向上しています。

レンズ性能

絞り値や撮影距離にかかわらずコンスタントに高い描写性能を発揮するため、さまざまなシーンで重宝するレンズです。絞り開放でも優れたコントラスト再現率を誇ります。絞り込めば、画像周辺部の解像感がわずかですが向上します。最大歪曲収差はわずか1.2%と認識できないレベルにまで抑えています。右のグラフは被写体の持つコントラストをどの程度忠実に再現できるかを表したもので、横軸をライカプロフォーマットにおける像高、縦軸をコントラスト再現率（%）とし、空間周波数が5本/mm、10本/mm、20本/mm、40本/mmのMTF特性を示しています。実線は放射方向、破線は同心円方向です。



LEICA **SUMMICRON-S** f2/100 mm ASPH.



鮮明かつシャープに描写

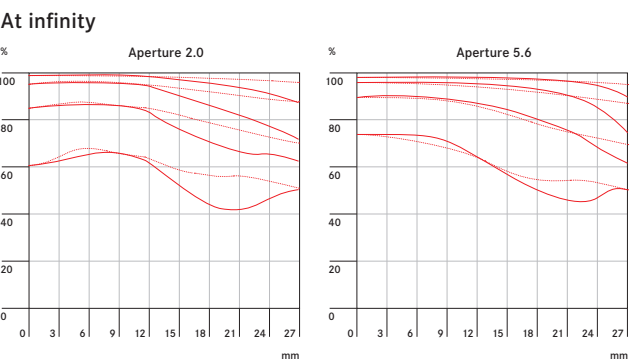
鮮明かつシャープな一点から驚くほどなめらかにボケていく描写により、創造力を自由に発揮して表現できるレンズです。レンズの表面には特殊なマルチコーティングを施しているため、色合いを忠実に再現でき、人物の肌を階調豊かに描き出せます。また、絞り開放から最小絞りまで、圧倒的な高画質が得られます。迷光の影響を受けることもないので、撮影が難しい光の状況での新たな定番レンズとして活躍します。焦点距離は35mm判換算で80mm相当です。

レンズ構成

レンズ構成は5群7枚で、両面非球面レンズを1枚採用して単色収差を抑えるとともに、異常部分分散ガラスを用いたレンズを3枚取り入れて色収差をバランスよく補正しています。また、フォーカシングに応じて最後面の接合レンズのみが移動するフローティングシステムを採用しているので、近接撮影でも細部まで高コントラストに描き出せます。フォーカシングしてもレンズの全長は変わらず、ほこりや水滴が入りにくい構造になっています。フロントレンズとリアレンズには強化ガラスを用いており、よりタフな仕様になっています。

レンズ性能

無限遠から0.7mの最短撮影距離までコントラストに優れた描写を実現します。また、絞り開放でもハイレベルな描写力を発揮します。歪曲収差は撮影距離にかかわらず1%をはるかに下回っており、実用レベルではまったく問題ありません。右のグラフは被写体の持つコントラストをどの程度忠実に再現できるかを表したもので、横軸をライカプロフォーマットにおける像高、縦軸をコントラスト再現率(%)とし、空間周波数が5本/mm、10本/mm、20本/mm、40本/mmのMTF特性を示しています。実線は放射方向、破線は同心円方向です。



LEICA **TS-APO-ELMAR-S** f5.6/120 mm ASPH.



遠近感と被写界深度を自在にコントロール

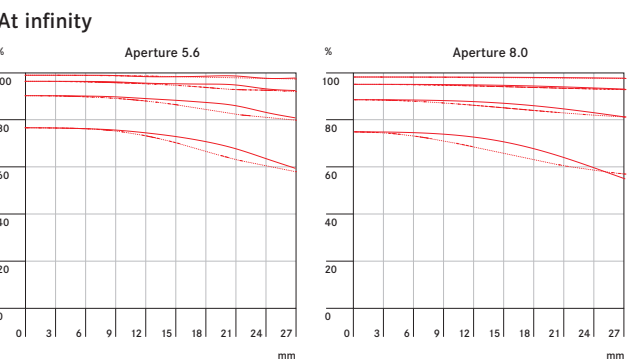
ビューカメラのように遠近感と被写界深度を自在にコントロールできる、アオリ（ティルト・シフト）機構搭載レンズです。イメージサークルの径を通常よりも24mm拡大しており、レンズの光軸を全方向に最大12mm平行移動できます。レンズをシフトすることで、例えば製品写真で縦の線が不自然に傾くのを防ぐなど、遠近感を効果的に補正して撮影できます。また、レンズの光軸を全方向に最大8° 傾けることも可能。レンズをティルトすることで、シャインブルーの原理に基づいてピントの合う範囲をコントロールできます。ティルトを利用すれば、被写体を斜めから撮影しても全体にピントを合わせることができます。つまり、斜めからの撮影により伸長部がレンズの焦点深度を超えた場合でも、被写体の伸長方向とは逆向きに焦点面ティルトさせることで焦点距離を補正することができます。ライカSでは、ライブビュー機能を使えば大きな画面を見ながらの緻密なピント合わせが可能です。焦点距離は35mm判換算で96mm相当です。

レンズの構造

ティルト・シフトレンズであるため、他のSレンズとは異なる特殊な構造になっています。ピントを合わせるフォーカスリングのほか、絞り値を設定するプリセットリングと絞り込みリングを装備しています。また、ティルト方向設定用とシフト方向設定用のリング（ターン＆プッシュ方式）を各1つに、ティルト角度設定用とシフト角度設定用のリングを各1つ、計4つの操作リングを装備しています。さらに、三脚座（1/4インチのねじ穴および3/8インチ用のプッシュ付き）を装備しています。固定ノブをゆるめるとカメラごと任意の方向に回転できます。

レンズ性能

イメージサークルを拡大しており、シフト量は最大12mm、ティルト量は最大8° です。また、ティルト・シフト機構部をそれぞれ360° の回転幅で調整することによってティルト・シフトの方向を個別に変更できます。ティルトとシフトを活用することで、創造力を自由に発揮して表現できます。右のグラフは被写体の持つコントラストをどの程度忠実に再現できるかを表したもので、横軸をライカプロフォーマットにおける像高、縦軸をコントラスト再現率(%)とし、空間周波数が5本/mm、10本/mm、20本/mm、40本/mmのMTF特性を示しています。実線は放射方向、破線は同心円方向です。



LEICA **APO-MACRO-SUMMARIT-S** f2.5/120 mm (CS)



ポートレートだけにとどまらないマルチな性能

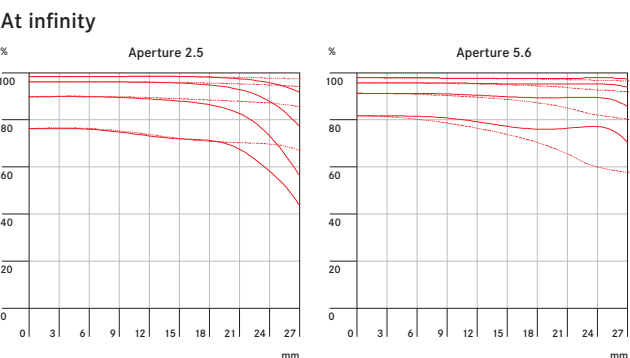
開放F値2.5というきわめて明るい望遠レンズとして、さらに最大撮影倍率が1:2のマクロレンズとして、1本で2役をこなすレンズです。全撮影距離で絞り開放から驚くほどの高画質な描写を実現します。絞り込んでも被写界深度が深くなるだけで、コントラスト再現性はほとんど変わりません。そのため、絞り開放で被写界深度を浅くして、クリエイティブで印象深い表現をとことん追及できます。焦点距離は35mm判換算で96mm相当です。セントラルシャッターを搭載したCSバージョンもあり、用途の幅は果てなく広がっています。

レンズ構成

レンズ構成は7群9枚です。フォーカシングに応じて前群のレンズが移動するフローティングシステムを採用しているため、マクロ撮影でもコントラストに優れた画質が得られます。また、3枚のレンズに異常部分分散ガラスを用いており、そのうち2枚は超低分散性を持っています。これらのレンズ特性により、単色収差を良好に補正しています。さらに、高度なアポクロマート性能により、細部までコントラスト豊かで解像感あふれる描写が可能です。

レンズ性能

120mmレンズとしてもマクロレンズとしても非常に明るく、絞りを開放しても高コントラストな画像が得られます。絞り込んでも画像周辺部で画質がわずかに改善されるだけなので、望遠撮影でもマクロ撮影でも絞り開放で十分美しく撮影できます。また、歪曲収差もきわめて良好に補正しており、実用レベルで気になることはありません。右のグラフは被写体の持つコントラストをどの程度忠実に再現できるかを表したもので、横軸をライカプロフォーマットにおける像高、縦軸をコントラスト再現率 (%) とし、空間周波数が5本/mm、10本/mm、20本/mm、40本/mmのMTF特性を示しています。実線は放射方向、破線は同心円方向です。



LEICA **APO-ELMAR-S** f3.5/180 mm (CS)



究極の望遠レンズ

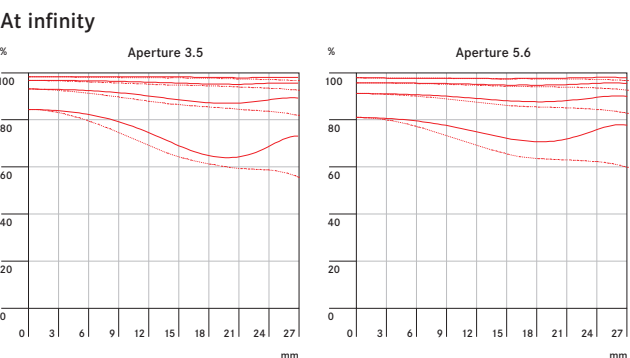
手持ちでの望遠撮影で威力を発揮する、望遠レンズの新たなスタンダードです。絞り開放から高コントラストの描写を実現できるので、絞り込む必要はありません。また、諸収差も実用レベルではほぼ問題にならないレベルまで補正しています。さらに、開放F値も明るいいため、ポートレートで背景を美しくぼかすクリエイティブな表現も可能です。最短撮影距離はわずか1.5mなので、魅力的なマクロ撮影にも最適です。スタジオ撮影では、被写体との距離を長くとることができるため、照明を設定するスペースが確保できるなどのメリットがあります。焦点距離は35mm判換算で144mm相当です。セントラルシャッターを搭載したCSバージョンもあります。このレンズ専用の別売アクセサリとして、このレンズ用に特別に設計されたクローズアップレンズのライカエルプロ S 180も用意しています。ライカエルプロ S 180を使えば、最短撮影距離が1.1 ～ 2.7mに、最大撮影倍率が1:4.5になります。

レンズ構成

レンズ構成は7群9枚で、アポクロマート補正されています。6枚のレンズは異常部分分散ガラスからつくられており、うち2枚は超低分散性を持ったレンズで、色収差の補正に貢献しています。また、高屈折率ガラスを用いてつくられたレンズを3枚採用して、単色収差を効果的に抑制しています。

レンズ性能

画面のすみずみまで高コントラストに美しく描き出す優れた描写性能を誇るレンズです。右のグラフは被写体の持つコントラストをどの程度忠実に再現できるかを表したもので、横軸をライカプロフォーマットにおける像高、縦軸をコントラスト再現率 (%) とし、空間周波数が5本/mm、10本/mm、20本/mm、40本/mmのMTF特性を示しています。実線は放射方向、破線は同心円方向です。絞り開放でもほとんど変わらずハイレベルな描写性能を維持することは、このMTF曲線からも明らかです。



LEICA S-SYSTEM

アクセサリ

01



02



03



04



06



05

08



07



09



マルチファンクションハンドグリップS (図01)

コード (ハンドグリップ) : 16028 | コード (ハンドストラップ) : 16004

予備バッテリーを1個装着して長時間の撮影を可能にすると同時に、縦位置撮影時のホールド性を高める、1台2役のハンドグリップ。縦位置用のシャッターリリースボタンとクリックホイールのほか、AE/AFロックを兼用したボタンを装備し、ネオプレーン製のハンドストラップSも用意。ホールド性がさらにアップします。ハンドストラップSはマジックテープで長さの調節が可能です。

リモートリリースケーブルS (図02)

コード : 16029

リモートリリースケーブルSは、シャッターリリース時のブレを解消し、長時間露光撮影やHDR画像作成のための複数回露光に大きく役立ちます。シャッターリリースロックも装備しており、バルブモード (Bモード) での撮影に活用できます。

オーディオアダプター S (図03)

コード (オーディオアダプター SはライカS (Type 007) 専用) : 16042

Lemo製オーディオアダプター Sは、ヘッドフォンとリモートマイク接続用のソケットを装備しています (ともに3.5mmジャック用)。

Lemo製USBケーブルS (図04)

コード (Lemo製USB 3.0ケーブル、ライカS (Type 007) 用) : 16040

LemoのアクティブUSB 3.0スーパースピードケーブルは、カメラとコンピューターの非常に安定した接続を実現し、最高速で信頼性の高いデータ伝送をサポートします。長さは5mで、複数本つなげて延長することができます。

プロフェッショナルバッテリーチャージャー S (図05)

コード : 16011

プロフェッショナルバッテリーチャージャー Sは、2個のバッテリーを同時に急速充電することができます。車の標準的なシガーライターソケットに接続して充電することも可能です。

バッテリー S (図06)

コード (バッテリー S BP-PR01、ライカS (Type 007) 用) : 16039

Sシステム用に開発された高性能な充電式リチウムイオンバッテリーです。重要なバッテリーパラメーターを常時監視し、安全・快適な動作を保証します。

HDMIケーブルS (図07)

コード : 14 491

HDMIケーブルSは、ライカSおよびS-EカメラをHDMIポート付きモニターまたはTV受像機に直接接続するためのケーブルで、ビデオ録画またはスチール写真を可能なかぎり最高の品質で再現できます。

ACアダプター S (図08)

コード (ACアダプター S、ライカS (Type 007) 用) : 16041

ACアダプター Sは、スタジオセットでの撮影時に非常に便利です。外部電源を連続して使用できるため、バッテリーをムダに使うことなく、カメラを常時撮影スタンバイ状態に維持することができます。

Lemo製フラッシュ同期ケーブルS (図09)

コード : 16031

長さ5mのLemo製フラッシュ同期ケーブルSを使用すれば、外部フラッシュユニットを、露光時間が非常に短い (最短1/1000秒) 場合でも確実に安定してシンクロさせることができます。

LEICA S-SYSTEM

カメラケースS
コード：16010

キャリーオンタイプの大容量ケースで、ライカSカメラ本体とレンズ5本のほか、マルチファンクションハンドグリップ、クイックチャージャー、プロフェッショナルバッテリーチャージャー、USBケーブル、フォーカシングスクリーン、バッテリー 2個、リモートリリースケーブルなどの各種アクセサリを収納することができます。ライカ ケースSの構造は特に堅牢性の点で大変優れており、極限の条件下で撮影を強行する場合でも、ケースSに収納したすべてのシステムコンポーネントを塵埃や水撥ねから安全に保護することができます。また、サイズも非常にコンパクトで、旅客機内にも携行品として持ち込めます (IATA適合。ただし、航空会社、路線や搭乗クラスによってはその限りではありません)。



フォーカシングスクリーン

コード (ユニバーサルフォーカシングスクリーン)：16000
コード (スプリットイメージインジケータとマイクロプリズムスポット付きフォーカシングスクリーン)：16001
コード (グリッドスクリーン)：16002

カメラのビューファインダー内のフォーカシングスクリーンは簡単に交換することができます。カメラ付属のユニバーサルフォーカシングスクリーンのほか、2種類の交換用フォーカシングスクリーンが用意されています。1つはカメラの正確なアライメントを支援するグリッドの付いたタイプ、もう1つはスプリットイメージとマイクロプリズム付きのマットスクリーンです。マニュアルフォーカスで撮影するときや、Sアダプターを使って他社製のレンズで撮影するときに便利です。



ユニバーサルフォーカシングスクリーン



スプリットイメージとマイクロプリズム付きフォーカシングスクリーン



グリッドスクリーン

ライカSアダプター

ライカSアダプターC
コード：16038

コンタックス645互換システムレンズ：

ディスタゴンT* 30mm/f3.5	ディスタゴンT* 45mm/f2.8	ディスタゴンT* 55mm/f3.5
ブラナーT* 80mm/f2.8	アポマクロブラナーT* 120mm/f4	ソナーT* 140mm/f2.8
ソナーT* 210mm/f4	テレアポテッサーT* 350mm/f4	バリオソナーT* 45-90mm/f4.5
ムター1.4×T*		



ライカSアダプターH
コード：16030

ハッセルブラッドH互換システムレンズ：

HCD 28mm/f4	HC 35mm/f3.5	HC 50mm/f3.5 II
HC 80mm/f2.8	HC 100mm/f2.8	HC マクロ 120mm/f4 II
HC 150mm/f3.2	HC 210mm/f4	HC 300mm/f4.5
HC 50-110mm/f3.5-4.5	HCD 35-90mm/f4-5.6	



ライカSアダプターV
コード：16024

ハッセルブラッドV互換システムレンズ：

ツァイス ディスタゴンCFi 30mm/f3.5	ツァイス ディスタゴンCFE 40mm/f4	ツァイス ディスタゴンCFi 50mm/f4
ツァイス ディスタゴンCFi 60mm/f3.5	ツァイス ブラナー CFi 80mm/f2.8	ツァイス ブラナーCFi 100mm/f3.5
ツァイス マクロブラナーCFE 120mm/f4	ツァイス ソナーCFi 150mm/f4	ツァイス ソナーCFE 180mm/f4
ツァイス ソナーCFi 250mm/f5.6		



ライカSアダプターP67
コード：16026

ペンタックス67互換システムレンズ：

SMC 67 35mm/f4.5魚眼、	SMC 67 45mm/f4、	SMC 67 55mm/f4
SMC 67 75mm/f2.8 AL、	SMC 67 90mm/f2.8 LS、	SMC 67 90mm/f2.8
SMC 67 105mm/f2.4、	SMC 67 165mm/f4 LS、	SMC 67 200mm/f4
SMC 67 300mm/f4、	SMC 67 400mm/f4、	SMC 67 500mm/f5.6
SMC 67 600mm/f4、	SMC 67 800mm/f4、	SMC 67 800mm/f6.7 EDIF
SMC 67 1000mm/f8、	SMC 67 マクロ135mm/f4、	SMC 67 シフト75mm/f4.5
SMC 67 100mm/f4マクロ、	SMC 67 120mm/f3.5ソフト、	SMC 67 165mm/f2.8
SMC 67 300mm/f4 ED IF、	SMC 67 400mm/f4 ED IF、	SMC 67 55-100mm/f4
SMC 67 90-180mm/f5.6		



ライカSアダプターM645
コード：16025

マミヤ645互換システムレンズ：

24mm/f4、	35mm/f3.5、	45mm/f2.8
50mm/f4 シフト、	55mm/f2.8、	55mm/f2.8 LS
80mm/f1.9、	80mmS/f2.8、	80mm/f4 マクロ
120mm/f4 APO、	150mm/f2.8、	150mm/f3.5
150mm/f3.8 LS、	200mm/f2.8 APO、	210mm/f4
300mm/f5.6、	300mm/f2.8 APO、	500mm/f5.6
500mm/f4.5 APO、	55-110mm/f4.5、	105-210mm/f4.5
TS 120mm/f5.6		



LEICA S-SYSTEM

サービスパッケージ



ライカSシステムの世界

Sシステム製品は、ライカストアおよびSシステム正規特約店での販売となります。ライカストアおよびSシステム正規特約店では、プロの写真家の皆様にきめ細やかなアドバイスやサポートをご提供しています。また、ライカではSシステム専門のグローバルチームを結成し、お客様に直接サポートサービスを行っています。世界中でプロの写真家の皆様に愛されるカメラシステムには、充実したサポート、効率的なコミュニケーションの手段、そしてお客様への直接的な対応が求められるという考えから、Sシステムでは最高のサポートサービスをご用意しています。

Sシステム全製品のメーカー保証は、ご購入日から1年間です。また、ライカではすべての修理部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。

ライカSご購入後は、修理が必要な場合にスピーディーかつ効率的な修理をご依頼いただける、Sシステム専用のヘルプラインをご利用いただけます。

ライカ プロテクションプラン

Sシステム製品は、カメラ本体からレンズ、システムアクセサリに至るまで、毎日のプロユースの厳しい環境で生じるリスクにも耐えうる信頼性を確保しています。それでもなお、予期せぬトラブルにも備えておけば、万全の体制で撮影に臨めることは間違いありません。最悪の事態が起きた場合に心強いサービスが、ライカ プロテクションプラン（LPP）です。ご購入日から3年間またはシャッター使用回数が15万回（S Type 007）、同10万回（S-E Type 006）以内であれば、ライカ プロテクションプラン（LPP）の拡大保証サービスの適用対象となります。なお、LPPは1つにつきカメラ1台またはレンズ1本のいずれかに適用されます。

LPPには、製品のクリーニングと全機能の調整を含む無償点検サービス（1回のみ）が含まれます。無償点検の際にカメラ本体のシャッターまたはセントラルシャッターで不具合が確認された場合は、シャッターの交換も無償で行います。また、世界の多くの地域において、24時間修理の受付を行っているほか、修理期間中には代替機を無償で貸し出ししています。大切な撮影でも機材の故障による時間のロスを最低限に抑えることができます。

ライカ プロテクションプランのラインナップ

LPP ライカS本体（Type 007）、LPP ライカS-E本体（Type 006）
LPP Sレンズ、LPP SレンズCS、LPP SレンズVario

LEICA S-SYSTEM

テクニカルデータ

製品	ライカS（Type 007）	ライカS-E（Type 006）
型式	レンズ交換式ミドルフォーマットデジタル一眼レフカメラ	レンズ交換式ミドルフォーマットデジタル一眼レフカメラ
撮像素子のタイプ	マイクロレンズ方式ライカCMOSセンサー	マイクロレンズシフト方式ライカCCDセンサー
サイズ	30 X 45 mm（ライカプロフォーマット）	30 X 45 mm（ライカプロフォーマット）
アスペクト比	2:3	2:3
記録画素数	3750万画素（5000 X 7500）	3750万画素（5000 X 7500）
画素ピッチ	6 μm	6 μm
ダイナミックレンジ	15EV	12EV
色深度	16ビット	16ビット
色空間	sRGB/Adobe RGB/ECI RGB 2.0	sRGB/Adobe RGB/ECI RGB 2.0
ホワイトバランス	オート / 晴天 / 曇天 / 日陰 / 白熱灯 / HMI / 蛍光灯（暖色） / 蛍光灯（寒色系） / フラッシュ / グレーカード（画像に基づいて判断） / グレーカード ライブビュー / 色温度（ケルビン）	オート / 晴天 / 曇天 / 日陰 / 白熱灯 / HMI / 蛍光灯（暖色） / 蛍光灯（寒色系） / フラッシュ / グレーカード（画像に基づいて判断） / 色温度（ケルビン）
ローパスフィルター / IRフィルター	非搭載 / 撮像素子上	非搭載 / 撮像素子上
モアレ除去	ワークフローソフトウェア（Adobe® Photoshop® Lightroom®）による	ワークフローソフトウェア（Adobe® Photoshop® Lightroom®）による
レンズ		
レンズマウント	ライカSバヨネットマウント方式	ライカSバヨネットマウント方式
クロップファクター	35 mmフィルム換算でレンズ焦点距離約0.8倍に相当（装着したライカSレンズによる）	35 mmフィルム換算でレンズ焦点距離約0.8倍に相当（装着したライカSレンズによる）
フォーカシング		
フォーカスタイプ	セントラルクロスセンサー（ユニバーサルスクリーン上に十字線で表示）、予測オートフォーカス機能を装備、フォーカシング駆動機構はレンズに内蔵	セントラルクロスセンサー（ユニバーサルスクリーン上に十字線で表示）、予測オートフォーカス機能を装備、フォーカシング駆動機構はレンズに内蔵
AFモード	モード選択可能：AFs（シングル、フォーカス優先）、AFc（コンティニュアス、予測フォーカストラッキング）、MF（マニュアルフォーカス）、AF設定からマニュアルへ随時切り替え可能	モード選択可能：AFs（シングル、フォーカス優先）、AFc（コンティニュアス、予測フォーカストラッキング）、MF（マニュアルフォーカス）、AF設定からマニュアルへ随時切り替え可能
フォーカスロック（AFメモリー）	5方向ジョイスティック	5方向ジョイスティック
マニュアルフォーカス	レンズのフォーカシングリングを使用	レンズのフォーカシングリングを使用
露出設定		
露出測光	TTL測光方式	TTL測光方式
測光方式	マルチ測光（5点） / 中央重点測光 / スポット測光（全画面の3.5%）	マルチ測光（5点） / 中央重点測光 / スポット測光（全画面の3.5%）
AEロック	シャッターリリースボタンまたは5方向ジョイスティックにてAEロックが可能	シャッターリリースボタンまたは5方向ジョイスティックにてAEロックが可能
測光範囲	f2.5、ISO 100相当のとき スポット測光：EV2.7 ～ 20、中央重点測光およびマルチ測光：EV1.2 ～ 20	f2.5、ISO 100相当のとき スポット測光：EV2.7 ～ 20、中央重点測光およびマルチ測光：EV1.2 ～ 20
露出モード	[P] プログラムAE（プログラムシフト可能）、[T] シャッター速度優先AE、[A] 絞り優先AE、[M] マニュアル	[P] プログラムAE（プログラムシフト可能）、[T] シャッター速度優先AE、[A] 絞り優先AE、[M] マニュアル
露出補正	補正範囲：±3.0EV、補正ステップ：1/2EV	補正範囲：±3.0EV、補正ステップ：1/2EV
オートブラケット撮影（AEB）	3カットもしくは5カットの連続撮影設定可能（オート / マニュアル） ± 1/2、1、2、3EVステップ設定モードによる	3カットもしくは5カットの連続撮影設定可能（オート / マニュアル） ± 1/2、1、2、3EVステップ設定モードによる
ISO感度	オート / 100 / 200 / 400 / 800 / 1600 / 3200 / 6400 / 12500	オート / 100 / 200 / 400 / 800 / 1600

	ライカS（Type 007）	ライカS-E（Type 006）
シャッター		
タイプ	マイクロプロセッサ制御、メタル製縦走り式フォーカルブレーンシャッター	マイクロプロセッサ制御、メタル製縦走り式フォーカルブレーンシャッター
シャッター速度	1/4000秒～ 60秒（ISOによる、1/2段ステップ）	1/4000秒～ 125秒（ISOによる、1/2段ステップ）
CSシャッターオプション	セントラルシャッター搭載のライカSレンズ使用時に選択可能	セントラルシャッター搭載のライカSレンズ使用時に選択可能
CSシャッター速度	最高1 /1000秒；全速度でフラッシュ同調	最高1 /1000秒；全速度でフラッシュ同調
リニアフラッシュモード	1/125秒のフラッシュ同調速度はライカのフラッシュユニットとHSS対応のSCA3002フラッシュユニット使用時に実現可能	1/125秒のフラッシュ同調速度はライカのフラッシュユニットとHSS対応のSCA3002フラッシュユニット使用時に実現可能
連続撮影	約3.5コマ/秒	約1.5コマ/秒
シャッターリリース	2段階；露出計およびAFの作動、シャッターリリース	3段階
セルフタイマー	2秒後または12秒後（ミラーアップ撮影時）	2秒後または12秒後（ミラーアップ撮影時）
ミラーアップ	可能	可能
動画		（動画撮影不可）
動画撮影	ライカプロフォーマット（ミドルフォーマット）のフルハイビジョンスーパー 35mm相当の4K動画	-
動画解像度	フルハイビジョン：1920 × 1080 4K：4096 × 2160	-
フレームレート	フルハイビジョン：24、25、30コマ/秒 4K：24コマ/秒	-
動画フォーマット	MOV（motion JPEG）	-
カラーサンプリング	4:2:2	-
露出制御	マニュアル / オート	-
オーディオ制御	マニュアル / オート	-
搭載オーディオ装置	内蔵ステレオマイク 48 kHz、16ビット	-
外部オーディオ端子	オーディオ入力（3.5mmジャック）、オーディオ出力（3.5mmジャック）、ライカS用オーディオアダプター（オプション）を使用	-
タイムコード	内蔵	-
その他	フォーカスピーキング、動画プレイバック、外部HDMIレコーダー専用の鮮明な非圧縮フルハイビジョンHDMI動画ストリーム	-
ライブビュー		（ライブビュー非搭載）
フレームレート	最大60コマ/秒	-
フォーカシング	AF測距フィールドはビューファインダー画像内を移動可能	-
露出制御	マルチ測光 / 中央重点測光 / スポット測光（ビューファインダー画像内のAF測距フィールドに連動）	-
露出シミュレーション	可能	-
その他	クリッピング表示付きヒストグラム、フォーカスピーキング、レベリングエイド（スピリットレベル）、設定情報	-

LEICA S-SYSTEM

	ライカS（Type 007）	ライカS-E（Type 006）
ビューファインダー		
タイプ	ハイアイポイント・アイピース付きペンタプリズムファインダー、ビューファインダー画像下の照明式LCD情報表示	ハイアイポイント・アイピース付きペンタプリズムファインダー、ビューファインダー画像下の照明式LCD情報表示
倍率	0.87倍（70mmレンズ、無限遠時）	0.87倍（70mmレンズ、無限遠時）
ファインダー視野率	約98%	約98%
視度補正	-3 ～ +1 dpt.	-3 ～ +1 dpt.
フォーカシングスクリーン	交換可能	交換可能
ディスプレイ		
上面ディスプレイ	発光式上面LCDパネル	フルカラー、発光式上面パネル（OLED）
液晶モニター	3.0型TFT式カラー液晶モニター、解像度：921,600画素、色空間：sRGB 1600万色、画像フィールド：100%、視野角：170度	3.0型TFT式カラー液晶モニター、解像度：921,600画素、色空間：sRGB 1600万色、画像フィールド：100%、視野角：170度
保護ガラスカバー	傷が付きにくいコーニング社ゴリラガラス	傷が付きにくいコーニング社ゴリラガラス
フラッシュ		
インターフェース	ISOアクセサリースュー、Lemo®フラッシュ接続ソケット	ISOアクセサリースュー、Lemo®フラッシュ接続ソケット
調光方式	TTL調光（多分割、中央重点、スポット）	TTL調光（多分割、中央重点、スポット）
対応フラッシュユニット	SF 58およびSCA3002システム対応フラッシュユニットは本機のフラッシュ機能に対応	SF 58およびSCA3002システム対応フラッシュユニットは本機のフラッシュ機能に対応
X同調	1/125秒（FPS）または1/1000秒（CS）、遅いシャッタースピード時に同調、先幕/後幕シンクロを選択可能；FPS使用時でHSS調光モード設定の時は、本機のフラッシュユニットで速いシャッタースピード（1/180 ～ 1/4000秒）を実現可能	1/125秒（FPS）または1/1000秒（CS）、遅いシャッタースピード時に同調、先幕/後幕シンクロを選択可能；FPS使用時でHSS調光モード設定の時は、本機のフラッシュユニットで速いシャッタースピード（1/180 ～ 1/4000秒）を実現可能
フラッシュリフレクターの照射角度	装着レンズの焦点距離に自動適応、SF 58またはシステム対応フラッシュユニット（電動ズームリフレクター付き）を使用	装着レンズの焦点距離に自動適応、SF 58またはシステム対応フラッシュユニット（電動ズームリフレクター付き）を使用
同調時間	先幕/後幕シンクロ（FPS）	先幕/後幕シンクロ（FPS）
撮影		
撮影モード	1コマ撮影、連続撮影、インターバル、セルフタイマー 2秒/12秒（ミラーアップ使用可能）	1コマ撮影、連続撮影、セルフタイマー 2秒/12秒（ミラーアップ使用可能）
画像データ		
画像データ形式	ロスレス圧縮DNG（1カットにつき約42 MB）、JPEG（3750万画素 / 930万画素 / 230万画素、1カットにつき約1 ～ 16 MB、記録画素数や被写体により異なる）	DNG（3750万画素、1カットにつき約72 MB）、ロスレス圧縮DNG（1カットにつき約42 MB）、JPEG（3750万画素 / 930万画素 / 230万画素、1カットにつき約1 ～ 16 MB、記録画素数や被写体により異なる）
バッファメモリー	ロスレス圧縮DNG：最大15枚、JPEG：無制限（メモリーカードの種類、シャッター速度とISOの設定により異なる）	DNG：最大28枚、ロスレス圧縮DNG：最大32枚、JPEG：無制限（メモリーカードの種類、シャッター速度とISOの設定により異なる）
DNG形式とJPEG形式の同時記録	可能	可能
記録媒体	SDカード（SDXC、SDHC）、コンパクトフラッシュカード（UDMA7）、PCハードディスクへの外部転送可能	SDカード（SDXC、SDHC）、コンパクトフラッシュカード（UDMA7）、PCハードディスクへの外部転送可能
その他の機能		

	ライカS（Type 007）	ライカS-E（Type 006）
メニュー言語		
	日本語、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、繁体中国語、簡体中国語、ロシア語、韓国語、ポルトガル語	日本語、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、繁体中国語、簡体中国語、ロシア語、韓国語
ファームウェアアップデート	ユーザーによるアップデートが可能	ユーザーによるアップデートが可能
GPS	選択可能（一部の国・地域では当該国の法律によりGPS機能の使用が禁止されており、GPS機能が自動的に停止）；撮影場所の位置情報を画像のExifデータに記録可能	選択可能（一部の国・地域では当該国の法律によりGPS機能の使用が禁止されており、GPS機能が自動的に停止）；撮影場所の位置情報を画像のExifデータに記録可能
無線LAN	カメラ本体に内蔵（IEEE 802.11 n）	-
日付/時刻	ユーザー設定オプション、有効なGPSモジュールと日付・時刻・時間帯を自動同期	ユーザー設定オプション、有効なGPSモジュールと日付・時刻・時間帯を自動同期
水平器	感度<1°（気温0 ～ 40° C）	感度<1°（気温0 ～ 40° C）
インターフェース		
USB	Lemo® USB 3.0 SuperSpeed	Lemo® USB 2.0 HighSpeed
HDMI	HDMI タイプCソケット	HDMI タイプCソケット
オーディオ	オーディオアダプター使用（オーディオ入力、オーディオ出力、タイムコード）	-
フラッシュ同期	Lemo®フラッシュ同調ソケット	Xフラッシュ同期、Lemo®フラッシュ同調ソケット
リモートリリース	Lemo®ケーブルリリース	Lemo®ケーブルリリース
ハンドグリップ	ライカ純正マルチファンクションハンドグリップS	ライカ純正マルチファンクションハンドグリップS
電源		
バッテリー	充電式リチウムイオンバッテリー（公称電圧7.3 V、容量2300 mAh）	充電式リチウムイオンバッテリー（公称電圧7.4 V、容量2100 mAh）
AC電源	ライカ純正ACアダプター S（オプションアクセサリー）	ライカ純正ACアダプター S（オプションアクセサリー）
電源と充電器	ライカSシステムクイックチャージャー（米国仕様の電源プラグを装備、ヨーロッパ仕様、イギリス仕様、オーストラリア仕様の各電源プラグ、カーアダプターを付属）；定格入力：AC 100 ～ 240 V（50/60 Hz、自動切換）、またはDC 12/24 V；定格出力：DC 7.4 V DC、最大1250 mA	ライカSシステムクイックチャージャー（米国仕様の電源プラグを装備、ヨーロッパ仕様、イギリス仕様、オーストラリア仕様の各電源プラグ、カーアダプターを付属）；定格入力：AC 100 ～ 240 V（50/60 Hz、自動切換）、またはDC 12/24 V；定格出力：DC 7.4 V DC、最大1250 mA
本体		
材質	ダイカストマグネシウム合金製フルメタルボディ（グリップ性の優れた合成コーティング）、マグネシウム合金製トップカバー、アルミ製ボトムプレート	ダイカストマグネシウム合金製フルメタルボディ（グリップ性の優れたプラスチックコーティング）、アンスラサイトグレーのマグネシウム合金製トップカバー、グラスファイバー強化ポリカーボネート製ボトムプレート
動作環境	温度：0 ～ 45° C、湿度：15 ～ 80%	温度：0 ～ 45° C、湿度：15 ～ 80%
寸法（幅 × 高さ × 奥行き）：	160 × 80 × 120 mm	160 × 80 × 120 mm
質量	約1260 g（カメラ本体のみ、バッテリーを含む）	約1260 g（カメラ本体のみ、バッテリーを含む）
防塵・防滴性	あり	あり
三脚ネジ穴	A1/4（1/4インチ）DINおよびA3/8（3/8インチ）DIN、DIN4503準拠のロック機構付き	A1/4（1/4インチ）DINおよびA3/8（3/8インチ）DIN、DIN4503準拠のロック機構付き
1511-DN05K		



© 2015 Leica Camera AG | HDMI, the HDMI logo, and "High-Definition Multimedia Interface" are brands or registered trademarks of HDMI Licensing LLC | We reserve the right to make changes in the construction, features, and ranges without advance notice | Concept and design: LFI Photographie GmbH and Tom Leifer Design, Hamburg | Product photography: Alexander Göhr and berndEBSen photography | Brochure order numbers: German 25 187 | **English (US)** 25 188 | French 25 189 | Italian 25 190 | Leica Camera AG | Am Leitz-Park 5 | 35578 WETZLAR | GERMANY | Phone +49-6441-208-00 Fax +49-6441-2080-333 | www.leica-camera.com



ライカカメラジャパン株式会社 / 東京都千代田区有楽町 1-7-1 /
Tel 03-5221-9501 / Fax 03-5221-9502 / www.leica-camera.co.jp